

**「新潟市 J-クレジット普及推進協議会設立総会」を開催します**

**国の J-クレジット制度を活用し農業分野における温室効果ガス削減にチャレンジ！  
水田から創出したクレジットでカーボン・オフセットを推進**

温室効果ガスの排出削減量・吸収量を国が認証する「J-クレジット制度」を活用し、環境に配慮した持続可能な農業を推進するとともに、農業や企業の環境保全活動の活性化を図ります。

このたび新潟市では、農業者、農業団体、金融機関、行政で構成する「新潟市 J-クレジット普及推進協議会」を新たに設立し、令和5年4月に施行された方法論「水稻栽培における中干し期間の延長」により、水田からのメタン排出量削減に官民連携で取り組みます。

つきましては、下記により設立総会を開催いたしますので、皆様におかれましては取材・報道にご協力いただきますようお願いいたします。

**※水稻中干し（なかぼし）とは**

- ・水田の水を落とし土壌を乾かす作業のことで、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などに効果があります。
- ・国の試験研究では、中干し期間を直近2か年以上の実施日数の平均より、7日間以上延長することで、土壌中のメタン生成菌の働きを抑制し、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を3割削減する効果が実証されています。

**【協議会設立総会の概要】**

■日 時：令和6年3月27日（水） 13：30～14：30

■会 場：白山会館 2階 大平明浄の間（新潟市中央区一番堀通町1-1）

■内 容：新潟市 J-クレジット普及推進協議会の設立について

※総会は報道公開とし、閉会后に市農林水産部長のぶらさがり取材を行います

**■出席予定者**

- ・市内農業生産法人9社
- ・新潟市農業協同組合、新潟かがやき農業協同組合
- ・（株）第四北越銀行、第四北越リサーチ&コンサルティング（株）
- ・（公財）食の新潟国際賞財団
- ・新潟市（農林水産部長）

※オブザーバー参加 農林水産省北陸農政局 新潟県拠点

**■取材申し込み**

取材を希望される方は、別紙の申込書に記入の上、3月21日（木）正午までにFAXでお申込みください。

**【問い合わせ先】**

新潟市農林水産部 農業活性化研究センター（担当：小出、戸田）

電 話：025-362-0151（直通） F A X：025-362-0153

別 紙

新潟市 J-クレジット普及推進協議会設立総会の取材申し込み

取材を希望される方は、以下にご記入のうえ、3月21日（木）正午までにFAXにてお申込みください。

(送信先) FAX番号：025-362-0153 農業活性化研究センター 宛

貴社名		所属	
役職／氏名			
同行人数	人	カメラ有無	スチールカメラ 台 ムービーカメラ 台
TEL 番号 (中止時の連絡用)		FAX 番号	

(お問い合わせ) 新潟市農林水産部農業活性化研究センター TEL : 025-362-0151